

2014年8月実績概要（メモ）

（2014. 9. 18）

1. 生産動向

イ) エチレン 586,400トン

前月比 +6.0% (+33,000トン)
 前年同月比 +5.1% (+28,500トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	-	-
定修要因等	+ 4.4%	+ 1.3%
能力増減	-	▲ 5.4%
稼働率変動	+ 1.6%	+ 9.2%
生産増減率	+ 6.0%	+ 5.1%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月91.0%→当月92.3%←前年同月84.9%

定修プラント：前月1社1プラント→当月1社1プラント←前年同月2社2プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、定修規模の増減からHD、PP、塩ビ樹脂、EO、EG、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの12品目でプラス、LD、PS、ANなどの5品目はマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等からLD、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、トルエンなどの6品目がプラス、HD、PS、SM、SBR、ベンゼン、キシレンなどの11品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、定修の集中時期を過ぎたこともありHD、PPはプラス、LDは定修規模差、PSは稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因等からLD、PPは大幅なプラス、HD、PSはマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比は、夏季休暇に伴う営業日数の減少もあり、当月はLD、HD、PP、PSの4樹脂揃って二桁台のマイナスとなった。

前年比では、LD、HDでは輸入品の増加影響からフィルム分野を中心に出荷が低迷したこともありマイナスとなった。PPは射出成形分野、フィルム分野等の出荷が減少しマイナス。PSでは前月まで比較的好調な出荷が続いたことや大雨、台風による天候不順による影響もあり包装分野での出荷が減少しマイナスとなった。

ハ) 輸出

アジア域内の需要については依然として改善が見られていない。当月はLDのみが前月比、前年比でプラスとなった。その他の3樹脂はいずれも前月比、前年比ともマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PP、PSの4樹脂で増加した。在庫率(季節調整済)ではHD、PP、PSは上昇、LDは低下した。在庫水準としては、LD、HD、PPはやや高め、PSはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		7月末	8月末
LD	+35,400	3.6	3.4
HD	+9,100	2.5	2.8
PP	+60,100	2.6	2.9
PS	+5,200	1.0	1.2

以上